

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市會津八一記念館		
管理者名	公益財団法人會津八一記念館	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担当課	新潟市文化スポーツ部文化政策課		
所在地	新潟市中央区万代3丁目1番1号 新潟日報メディアシップ5階		
根拠法令			
設置条例	新潟市會津八一記念館条例		
施設概要	設 置：昭和50年4月（平成10年6月 市へ寄贈） （平成26年8月1日 中央区西船見町から現在の所在地へ移転） 施設規模：鉄筋コンクリート 428.58㎡ 施設内容：展示室、館長室、会議室、事務室、レクチャールーム、収蔵庫 観 覧 料：一般500円、大学生300円、高校生200円、中学生・小学生100円 （特別展を除く。）		

施設設置目的
會津八一の作品、遺品等を収集し、保管し、及び展示することにより、會津八一の業績を顕彰するとともに、市民文化の向上に資するため。
管理・運営に関する基本理念、方針等
會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文化・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、郷土新潟の文化振興とともに、我が国の教育・学術の興隆に寄与する。 （公益財団法人會津八一記念館定款第3条抜粋）

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準利用者数の達成	観覧者数年間7,000人以上	5,233人	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	広報の充実	・ホームページアクセス件数年20,000件以上 ・各種メディア・SNS等の活用	・46,413件 昨年同様、機械的なアクセスが増加しているが、それ以外は微増。 ・市のLINEほか、書の専門雑誌などで広報している ・小中学校の校長会で来館や出前授業の勧誘を強化した。	A	目標を大きく上回り評価できる。
	各種サービス満足度	観覧者アンケート「展示」に対する評価「よかった」以上が85%以上	98%	A	目標を大きく上回り評価できる。
		観覧者アンケート「接客」に対する評価「普通」以上が85%以上	98%	A	目標を大きく上回り評価できる。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には速やかに対応	対応した	B	
	設置目的に合致したサービス提供	文芸講演会の実施件数を年5回以上	7回	B	
		校外学習の受入件数を年20回以上	19校	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。

		アウトリーチ活動の実施件数を年4回以上	13回	A	目標を大きく上回り評価できる。
	その他	観覧者に占める大学生以下の比率が10%以上	7.8%	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
財 務	管理運営経費の削減	・指定管理料を年度協定額以下 ・経費縮減に向けた取組の実施	・協定額以下に収まっている ・自動ドア開放などの節電 ・送付先厳選で郵便費抑制	B	
	市の歳入の増加	観覧料収入を年間2,500千円以上	1,634千円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	緊急時連絡体制の確立	確立している	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	緊急時マニュアルの整備及び消防訓練等の実施	・ビルで定めた自衛消防隊の編成と任務が明文化されている。ビルの消防訓練に参加。	B	
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	提出している	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	提出している	B	
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかに対応する	・包括外部監査指摘事項の大半に対応	B	
	運営方針、事業目標に対する自己評価の有無	事業ごとに運営・経営面からの評価を行い、経営に役立てているか。	・展示会、講演会等イベントごとのアンケート結果を踏まえ評価、反省し、次のイベントに反映している	B	
	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的にミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	・担当課と密に連絡を取り、指導を受けながら、運営に反映している	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	・コンプライアンス研修の実施 ・個人情報保護の取組を適切に行うこと。	・税理士事務所の指摘に即応し、関係法令の遵守に努めている。 ・個人情報保護には適切に取り組んでいる	B	
	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題が生じないこと。	生じていない	B	

	専門性の高い人材の配置及び育成	学芸員を常時1人以上配置するとともに、専門性に優れた育成を行うこと。	・学芸員2人を配置。展覧会ごとに調査研究を行い、新聞記事の執筆や図録制作で専門知識の定着と拡大、深化につなげている ・「人物小伝 會津八一」を出版。保有知識の充実とブラッシュアップを図った。	B	
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員業務研修の実施（1人あたり年2回以上）	延べ29回（1人あたり5.8回）	A	目標を大きく上回り評価できる。
	労働基準の充足	・労働基準違反に該当する問題が生じないこと。 ・ワーク・ライフ・バランス等の推進に取り組むこと。	・生じていない ・職員により事情が異なるため、休日休暇を職員同士がうまく融通し合って取得できている。	B	

【評価基準】

A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B：要求水準（評価指標）が達成されている

C：要求水準（評価指標）が達成されていない

※ 評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。（評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。）

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

評価指標のうち、大半の項目で評価指標を満たしている。展覧会の評価は肯定的評価が98%、残る2%が「普通」であり、「よくなかった」という回答はなかった。また、以前から課題となっていた展示量不足との回答も5%まで縮小した。年々、展示に対する評価は限界近くまで上昇している。また開館50周年に当たり、独自にクラウドファンディング事業を展開し、追加的に発生する記念事業経費を賄うこともできた。しかし基準利用者数は開館50周年事業を精力的に取り組んだにも関わらず、前年比大幅に減少した昨年をも下回る結果となり、それに伴う観覧料収入でも目標を達成できなかった。こうした高評価と来館者減のギャップを考えると、何度も足を運んでくれるリピーターの求めるレベルの維持と初めて来た人にもわかりやすい展示の両立という難しい課題に取り組まなければならない。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

現地調査日：令和8年5月8日

入館者数と観覧料収入は低調だった昨年度からさらに落ち込み、目標を達成できていない。企画展示の内容によるところが大きいと考えられるが、目標達成に向けてさらなる改善に努めてほしい。一方、校外学習の受入件数とアウトリーチ活動の実施件数を増やす試みとして中学校教員向けの研修「はじめての會津八一」を計画しており、若い世代に會津八一を伝える今後の取り組みに期待したい。